



省エネ型浄化槽システム導入推進事業

2019年度要求額
2,000百万円 (1,600百万円)

事業概要

背景・目的

- 集合住宅等に設置されている大型浄化槽の処理工程上で使われている機械設備（ブロワ、水中ポンプ、スクリーン等）の省エネ化については、小型浄化槽と比べて比較的遅れている。
- 既設の中・大型浄化槽に付帯する機械設備を省エネ改修や、古い既設合併処理浄化槽を交換することで、浄化槽システム全体の低炭素化が大幅に図られると同時に、老朽化した浄化槽の長寿命化を図る。

事業概要

- ① 51人槽以上の既設合併処理浄化槽にかかる、省CO₂型の高度化設備（高効率ブロワ、インバータ制御装置等）の改修について、1 / 2 を補助する。
- ② 旧構造基準（S55以前に設置）の浄化槽（ブロワを使用するものに限る）の中でも101人槽以上、及び新構造基準（S56からH11にかけて設置）の浄化槽（曝気方式によるものに限る）の中でも101人槽以上の既設合併処理浄化槽の交換については、構造や本体のコンパクト化からエネルギー効果の高いと見込まれる浄化槽について、1 / 2 を補助する。

事業スキーム



期待される効果

- エネルギー起源二酸化炭素排出抑制（5万t-CO₂（2017年度削減見込）→ 12万t-CO₂へ（2022年度削減目標））
- 地域の低炭素・自立分散型生活排水処理システムの構築の促進



省エネ型浄化槽システム導入推進事業

イメージ

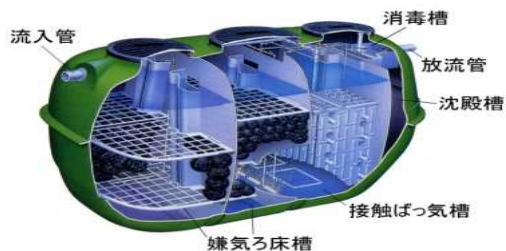
- ・ 21人槽以上の合併処理浄化槽設置状況 (H29末) 約28万2千基
- ・ うち101人槽以上の合併処理浄化槽 (H29末) 約7万9千基
- ・ そのうち旧構造基準型合併処理浄化槽 (H29末) 約6千基、新構造基準型合併処理浄化槽 約7万3千基

浄化槽の中でも中・大型浄化槽では、好気性微生物へ酸素供給するための送風設備（ブロワ）、混入物を除去するスクリーン、水中ポンプなど、処理工程上様々な電気・機械設備が必要

← エネルギー起源
CO₂排出源

浄化槽（中・大型浄化槽）省エネルギーシステム導入支援

浄化槽設備では
浄化槽本体の入替え



大型浄化槽の機械設備の例

<高効率ブロワ>



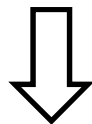
<インバータ制御装置>



<スクリーン>



- 高効率ブロワ等
- インバータ装置、タイマー等の
省エネ運転設備
など



エネルギー起源CO₂の排出抑制